

みんなで作ろう、 これからの医療 プロジェクト概要

2020年11月22日

一般社団法人ピーベック

みんなで作ろう、 これからの医療プロジェクト

People's Power flow into Healthcare: PPH

(以下、PPHプロジェクト)とは、ピーペックのミッションである「病気があっても大丈夫と言える社会」の実現に向け、あらゆる人が立場を超えて「これからの医療」を一緒に考え、創っていくためのプロジェクト

日本のこれからの医療を
素敵なものにするために、
病気をもつ人視点の
治療・薬・サービスを
「あたりまえ」にする

PPHプロジェクトの経緯

2019年 12月	「病気をもつ人」の持つ価値をライフサイエンス企業に届けることの実現のため、JPPaC(*)代表畑中氏と協働に向けた意見交換の開始
2020年 3月	ピーペック、JPPaC、医薬品産業イノベーション研究会による協働スタート
5月	「第1回患者団体と製薬会社の協働に関する調査」実施 ☞ 有効回答数109件 ☞ 病気をもつ人とライフサイエンス企業のギャップが見えてくる
7月	第1回ウェブセミナー「新たな患者会・活動のカタチ」開催 ☞ 平均視聴者数:82名 ☞ 「患者会」が様々な形態や活動になっていることを共有
8月	第8回患者会と製薬企業のパートナーシップPJ(JPPaC主催) ☞ 5月のアンケート結果から見えた課題と、解決のためのアクションプランについて、病気をもつ人とライフサイエンス企業双方の立場から話し合う
9月	第2回ウェブセミナー「ライフサイエンス企業のモヤモヤを解消するカギ～病気をもつ人(患者会)との協働を実現するために～」開催 ☞ 参加者:56名 ☞ 協働実現を阻むモヤモヤを解消するために起こすべき行動を、参加者と共に考える

PPHプロジェクトの行動方針

- ❖ 病気や資格の有無に関わらず、あらゆる人が立場を超えて医療について語り合う場をつくる
- ❖ 病気をもつ人とライフサイエンス企業が協働して、病気をもつ人視点の薬・医療機器・サービスの開発につなげる
- ❖ ピーペックのメンバーシップに基づくネットワークを形成し、緩やかなつながりの中で相互理解と相互尊重を促し、信頼関係をきずく

医療

ピーペックは「病気をもつ人・患者会」と「ライフサイエンス企業」をつなぐ【ハブ】としての役割を果たし、両者の交流と協働を推進します

病気をもつ人や市民視点の治療・薬、新しいサービス

病気をもつ人

望む生活に近づくために

- ☞ 交流の場
- ☞ 学びの場
- ☞ 就労支援

経験、知見、
データ等の価値

患者会(※)

充実した活動をするために

- ☞ 協働のプラットフォーム
- ☞ 協働のルール
- ☞ 協働の対価

ピー
ペ
ック
(P
P
H
プ
ロ
ジ
ェ
ク
ト)

プロジェクトの活動

- ☞ 協働のプラットフォーム
- ☞ 協働のルール
- ☞ ベストプラクティス
- ☞ 文化醸成

協賛(パートナー)

プロジェクトの事業

- ☞ 対話の場の企画運営
- ☞ コーディネート
- ☞ リサーチ
- ☞ アドバイザリー
- ☞ ビジネスモデルの構築
- ☞ 雇用のマッチング

対価・報酬

ライフサイエンス企業

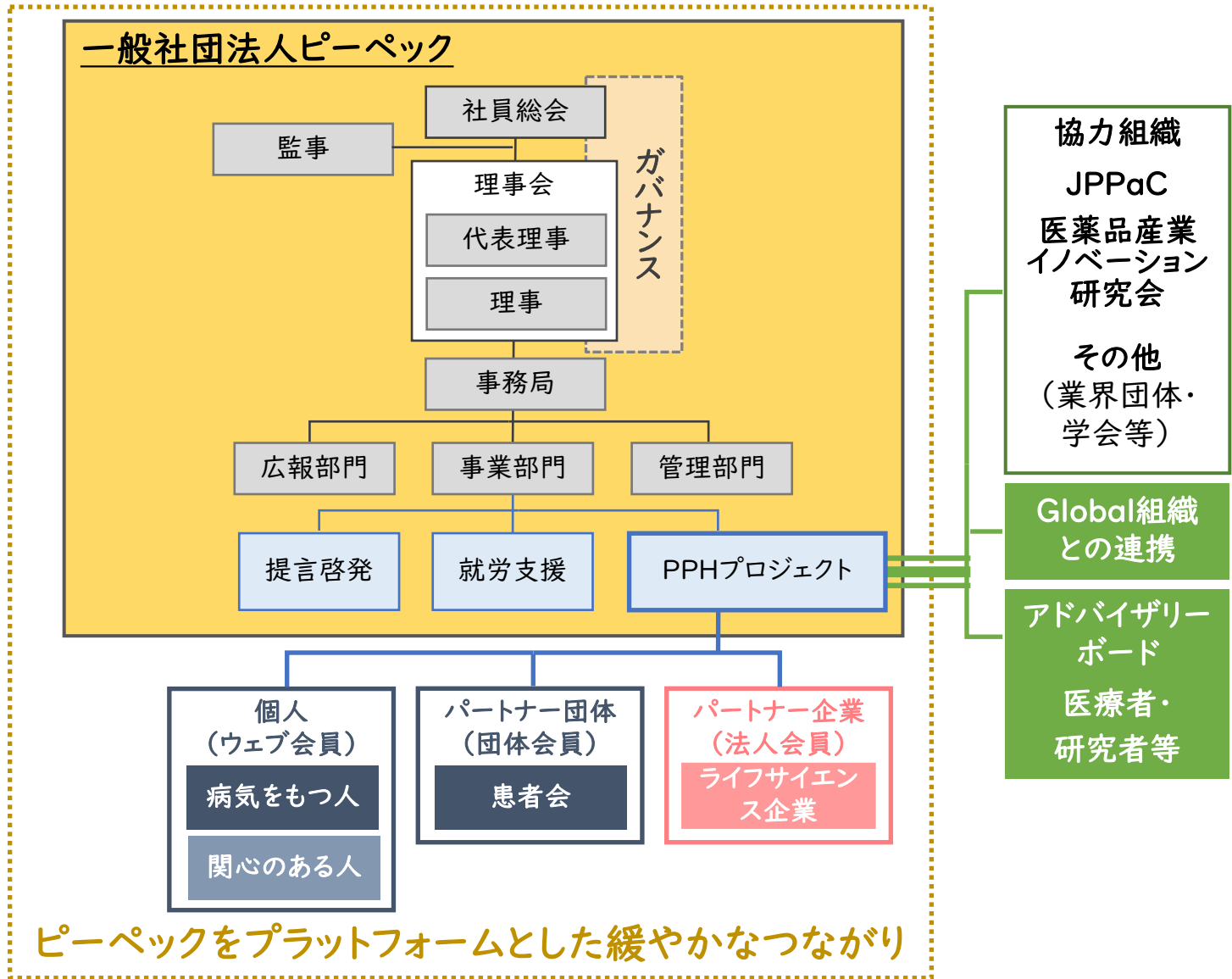
医療者・研究者

行政

医療に声を届ける

※患者会=患者支援団体等含む(以降「患者会」と表記)

組織・メンバーシップ



PPHプロジェクト 7つの活動

1. 交流の場を提供します
2. コンタクト先がわからない、を解消します
3. 安心して協働できる体制を構築します
4. ベストプラクティス（成功事例）を蓄積し、共有します
5. 学びの場（能力開発プログラム）を構築します
6. 病気をもつ人の価値を提供します
7. 相互利益を意識した協働の形を構築します